



のとちょう 議会だより

発行：能登町議会 発行日：平成27年5月1日 編集：能登町議会広報編集特別委員会



木住神社鬼討ち祭り ※写真の説明はP8 下段参照

第40号の内容

- 3月定例会議の一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・P2-4
- 特別委員会の設置・・・・・・・・・・・・・・・・P5
- 3月定例会議の議案質疑・・・・・・・・・・・・P6
- 常任委員会レポート・・・・・・・・・・・・P7
- 議会活動と編集後記・・・・・・・・・・・・P8

第40号

いっばん質問

3月定例会議の一般質問



金七祐太郎 議員

問 今後マイカーやレンタカーをどう呼び込むか

新幹線開通、能越道の氷見・七尾間の開通で増えると思われる、マイカー、レンタカーをどのように呼び込み誘導するのか。

答 道路案内標識や観光案内標識を充実

町長 能登町を訪れる交通手段は、約80%がマイカーそして5%がレンタカーというデータがあり、大半が車の利用である。カーナビやスマートフォンでの検索に能登町の施設が検索項目にヒットするようにしなければならぬ。その上で、標識等を参考にしてスムーズに誘導できるように取り組む。

問 珠洲道路からの内浦地区へのアクセス

珠洲道路から恋路海岸や赤崎いちご園、また、石川サンケン内浦工場の製品輸送にも欠かせない主要地方道内浦柳田線の上から駒渡区間の整備促進について町長の考えは

答 道路管理者の県要望していく

町長 見通しの悪いカーブが多いことで一部危険なところが残っている状況です。安心・安全な通行が確保されるよう、石川県に対し要望、進達しますが、整備に関しては地元地権者の同意と協力が不可欠となりますので、ご協力をお願いしたい。



田端雄市 議員

問 農業法人ワールドファームの事業見通し

事業がもたらす影響、また、かんがい用水の確保について

答 地元の雇用と荒廃した農地の再生を

町長 昨年12月に石川県の協力のもと、ワールドファームの誘致を決めた。今後、さらに農地を確保し、野菜加工施設等の整備により、地元雇用者の増加が見込まれる。

農林水産課長 当地域のかんがい用水は立壁の池を利用して。当該農業法人も既存の農地を利用するものであり、用水の供給は十分対応できる。干ばつ等の緊急時には、地元と協議し、対応していきたい。

問 真脇縄文遺跡エリアの今後の事業展開は

遺跡エリアを全国レベルの地域ブランドへの構想はあるか。また、エリアのアクセス道路整備の考えは。

答 縄文遺跡とともに町文化財集約の場に

町長 真脇遺跡には、非常に高い評価を頂いている。今後、縄文時代の建物の復元事業を実施し、全国に公表、多く参加者を募りたい。また、真脇遺跡周辺を町の文化財を集約するエリアとしたい。

遺跡エリアの発信については、県内全小学校へビデオの配布を実施。今後、広報活動を幅広く行っていく。また、アクセス道路3ヶ所の内、能都内浦線からは、公園と縄文資料館は見えるが進入路がわかりにくい。このアクセスについては、平成27年度から道路整備を進めたい。

問 交流人口の拡大を図る人づくり計画は

おもてなしの最前線にいるふれあい公社の社員に、処遇の改善や研修の計画はあるか。

答 社内外の研修を実施し、スキルアップを

町長 社員の処遇について、正社員登用制度を設け、毎年数名を正社員にしている。研修制度は、社内、社外とも実施、人材育成の一環としている。受講者からは、心に残るおもてなしの大切さを学んだという感想も聞いている。社員が一丸となっておもてなしについて考えている。人づくりにつながる研修や処遇の改善については、今後、意欲的に取り組んで参りたい。



捕獲されたイノシシ



小路政敏 議員

問被害拡大が心配されるイノシシ対策

今年度の鳥獣被害でイノシシの被害が大きいと聞いているが、町の対応としてどれぐらい生息しているかと想定しているか。また、経緯と結果は。

答奥能登2市2町の連携による取り組み

町長 奥能登には約千頭のイノシシが生息している。昨年は23頭が捕獲され、農作物への被害拡大を防いでいる。捕獲数が多くなれば、二次利用のための解体処理施設が必要となるが課題も多く時期尚早と考えている。現在、能登町有害鳥獣被害対策協議会を立ち上げ、県や農業団体で構成されているが、来年度以降構成員を充実するとともに、奥能登2市2町で連携して取り組む。

問入札結果の公表内容の充実を

隣接市町では、ホームページで入札の参加者結果が公表されているが、当町も同様の情報公開をしていく考えがあるか。

答27年度からより詳細に

監理課長 現在、入札結果は、関係法令に基づき町のホームページにおいて件名ごとに落札者及び落札金額を公表している。また、監理課において全ての入札者及び落札者の金額を閲覧できるようにしている。今後、入札結果については、平成27年度より町のホームページにおいて全ての入札者及び落札者の入札金額及び落札金額を公表し、情報の公開に努めたい。



市濱等 議員

問町発展に資する二次産業の課題

農林漁業は二次、三次産業の外国との取引材料となつて困難な分野であつたと推察するが、町の発展には一次産業の活性化が不可欠、その対策を問う。二次産業においては何れも能登町という特産品が少ない、製造業観光業の活力を引き出す政策は。

答当事者が意欲の湧く政策を

町長 担い手不足、鳥獣被害、TPP、貿易自由化等環境は非常に厳しい。農家が営農意欲を損なわないよう環境保全型農業を推進し支援の充実を図る。林業は地域通貨能登

小判の普及で、経済の活性化を図り里山の保全を推進する。漁業は漁場環境変化、燃油の高騰等経営環境は厳しいが、魚の鮮度保持、ブランド化をPRし所得向上につなげる。

問地方自治と町の創生将来像

二元代表制の自治で機能しているのか、部門別に責任者を設け民間感覚で経営を。子育て、医療無料化、住宅支援等金銭的な多くの政策が打ち出されているが、効果は。二世帯、三世帯同居できる環境を推進すれば人口減少に歯止めがかかるのでは。

答地域戦略推進室を設け、総合戦略を策定

町長 地方分権一括法合併推進と地方自治には近年二つの改革があつたが地方の活力は失われ、少子高齢化、人口減少は顕著だ。子育て環境の充実には、高齢者福祉の社会的扶養が充実しているように、子育てでもできるだけ公費を活用し家庭の負担を軽減する。お年寄りの知恵、協力も欠かせない。多面的に取り組む。



海洋深層水を使った塩



酒元法子 議員

問 主要国道改修等の要望活動

町の主要道を形成する国道道について、天候によって緊急車両でも走行しづらい箇所があるが未整備区間の要望活動や整備計画について

答 国県に対して毎年要望していくので協力を

町長 国道については、本木と町境の急カーブ解消と路肩幅員拡張を機会あるごとに。また、各県道については最重点箇所について機会あるごとに要望し、現在、事業着手もしくは推進、完了となっている。今後も町議会、地元沿線住民の方々と国県に対して要望していく。

問 道路案内板等・携帯不感地帯解消は

町を縦横断する国道道の案内板に能登の表記が一ヶ所もないが、道路標識と観光案内板を連動した誘導案内施策を講じては。また、携帯不感地帯の解消の取り組みについて。

答 標識設置基準で、不感地帯は解消済み

町長 道路案内標識は、全国基準で重要地、主要地、一般地、著名地と分かれていく。当町は、一般地で宇出津・柳田等の四地区の表示となっている。

携帯電話不感地帯については、三事業者全て通じない地域は解消済みであり、今後電波の悪い場所が解消するよう国、事業者に働きかけていく。



國盛孝昭 議員

問 総合計画の見直しと地方創生

総合計画の見直しには地方創生事業を踏まえ統合庁舎整備を中心に、各課横断した戦略室を設定して取り組むべきでは。

答 統合庁舎整備を中心に基本構想づくり

町長 統合庁舎整備を平成31年度に向け分庁方式の解消と総合支所として柳田、内浦庁舎の建て替えも踏まえ地域戦略推進室を各課横断的に立ち上げ町の行く末を見据えた基本構想づくりに取り組むので、ご理解とご協力を賜りたい。

その他の質問者

向峠茂人 議員



「まち・ひと・しごと創生特別委員会設置」

● 名称

まち・ひと・しごと創生
特別委員会

● 調査、検討期間

調査終了まで

● 設置の根拠

地方自治法第109条及
び委員会条例第6条

● 設置の目的

地方創生について講ずべき
施策を積極的に調査、
提案すること

● 委員の定数

14人（議員全員）
委員長 國盛孝昭
副委員長 金七祐太郎





議案をチェック

3月定例会議の議案質疑

平成27年度当初予算の議案質疑ということ、

椿原安弘、向峠茂人、市濱等、南正晴、金七祐太郎、宮田勝三、田端雄市、小路政敏、河田信彰の9名の議員が様々な角度から質した。

主な質疑、答弁は次のとおり。

問 子ども医療費を18歳まで無料化するには、条例改正が必要ではないのか、また給付方法を説明せよ。

答 健康福祉課長

27年度9月頃までにシステムを改修し、10月から18歳までに拡大する予定であるため、条例については、秋に改正するものである。給付については、能登町では、一度払っていただいで、自動償還

するものである。

問 藤波運動公園の工事費について

答 教育委員会事務局長

9200万6千円の内訳は、テニスコート関係で管理棟の塗装工事、エアコン設置、トイレ、シャワールームの改修で1934万3千円、テニス資料館の躯体工事、展示工事、既存の管理センターの改修工事で7266万3千円である。

問 のと里山空港プレミアム旅行券について説明せよ。

答 企画財政課長

額面一万円の旅行券を五千円で購入でき、使用方法は、石川県内にある旅行会社限定で、また、一回の旅行で一枚、一万

円のみ使用でき、旅行回数については、何回でも使用できる。

問 ドブネ収蔵庫について。

答 教育委員会事務局長

平成10年10月に国指定の民族文化財に、ドブネ3点と付属41点が指定されたが、その後放置状態となっており、この度、収蔵後の建設となった。27年度と28年度に建設し、完成後、展示する。

問 テニス資料館について。

答 教育委員会事務局長

現在、神和住純さん、表孟宏さんから寄贈されたものを仮に展示してあるが、大変貴重なものがあり、魅力ある展示方法でテニスの試合、応援に來られた方に見ていただ

けるよう計画した。

問 観光サイン（案内看板）のデザインについて

答 ふるさと振興課長

デザインについては、平成25年度にデザインコンペを実施し2社の応札があり、良い案を採用した。

問 能登町産米ブランド力向上支援事業について

答 農林水産課長

美味しいと言われるが知名度が低い当町の米をさらにこだわった米づくりを研究し、能登町産米の米価向上、営農意欲の向上を目指す事業である。

問 まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業について

答 企画財政課長

地方の人口減少問題で、今後の展望を踏まえ地域住民と共有できる人口ビジョンを計画することや、その人口ビジョンを踏まえて今後5年間の目標や施策の基本的・具体的施策を計画するものであり、27年度中に官庁、産業、学校、銀行、労働者

マスコミなどの方々と目標を立て、5年間継続し、毎年度実績成果目標を定めて地域振興を図るものである。

問 電気自動車充電サービス事業について

答 企画財政課長

石川県では、充電設備を500台の設置目標を掲げており、能登町には10台の目標が掲げられている。そのうち26年度には、4台設置し、27年度には2台設置を予定している。今後も町内では、20キロごとに1台の設置を目指していきたい。

問 能登町の電気自動車の購入予定は

答 企画財政課長

27年度は、購入予定がないが、28年度に向けて検討したい。

問 合宿等誘致促進事業について

答 企画財政課長

スポーツ、ゼミ、文化合宿、教育旅行の助成として、一人一泊千円を今までも補助してきたが、

貸切バスを利用したケースが多く、貸切バスの料金の2割から1割補助するものであり、北信越5県と滋賀県は、1割、それ以外は、2割である。

問 能登牛の郷施設整備事業について

答 農林水産課長

能登牛の増頭に支援するものであり、今年度200頭の増頭支援で、一頭あたり、県より9万円、町より2万円補助するものである。

問 能登牛生産体制整備事業について

答 農林水産課長

町の単独事業であり、一般の能登牛を飼っておられる畜産農家に増頭支援や牛小屋などの施設の修繕等を支援するものである。

問 子ども医療費を窓口負担千円も無料にできないか。

答 健康福祉課長

今後、子育て支援の一環として前向きに考えていきたい。

総務産業 建設委員会

國盛孝昭(委員長)
椿原安弘(副委員長)
田端雄市・市濱等
酒元法子・河田信彰
宮田勝三

3月9日及び3月10日

に委員会を開催し議案27件を審議。全会一致で可決すべきものと決定した。

●一般会計予算

問 ふるさと納税の寄付金2000万円については
答 今年度は、現時点で570万円であり、返礼割合を上げてカタログ形式の採用、クレジット決済とし、納税額の増を図る。全国的に同様の取り組みがなされると考えられ動向の予測は難しく、予算額については見込み額である。

問 新統合庁舎に係る2億5千万円の積立金の累計は

答 平成26年末で2億5千5百万円、平成27年を入れると5億5百万円となる。

問 消防庁舎の建設事業について7億4千6百70万円が計上されているが

答 能登消防署の庁舎であり、上町に予定している建設工事が大きく、次に旧上町小学校解体工事が主なものである。

●合併特例債について

問 県内の合併市町で使い切ったという自治体を聞くが、町では何%ほど残っているのか。

答 約30%ほどしか残っていないことになり、十年間ということだったが、東日本大震災により五年間延長となる。

●道路除雪機械購入補助金について

問 下取りした場合及び中古の機械購入でも対象となるのか。

答 下取りに関係なく、道路除雪機械を購入した業者に補助。基本的には、新車を購入していただくことになっており、補助金の交付要綱の中には、初年度登録から5年以内の機械を購入した場合も補助の対象となる。

教育民生 委員会

金七祐太郎(委員長)
小路政敏(副委員長)
南 正晴 ・ 向峠茂人
奥成壮三郎・鍛冶谷眞一
久田良平

2月13日及び3月9日

に委員会を開催し付託された議案24件を審議。全会一致で可決すべきものと決定した。

●一般会計予算

問 住民基本台帳ネットワーク管理事業があるがマイナンバー制度により住基カードを作り直すことになるのか。
答 導入に向けた準備を進めている。住基カードは、そのまま使えることとなる。

問 児童手当給付事業で予算の対象は何人を予定しているのか。

答 平成27年度で延べ一万四千七百人である。

問 保育料の改定については、算定には資産等も考慮されるか。

答 所得税で算定する。

問 小木小学校の海洋の授業は単年度授業か。

答 平成27年度から二年間の文科省の指定である。

●国民健康保険税の改定

問 国民健康保険税の改定があるが、対象者は何人か。
答 算定では五千五百人ほどである。

●介護保険料の改定

問 介護保険料の改定について、基金を取り崩して基金がなくなるとどうなるのか。
答 無くならないようにその分保険料を上げることになる。

【マイナンバーとは】

番号制度は、複数の機関に存在する特定の個人の情報を同一人の情報であるというこの確認を行うための基盤であり、社会保障・税制度の効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための基盤（インフラ）である。（総務省資料より）

1月から3月の主な議会活動

- 1月4日 町消防団出初式
 - 1月9日 交通安全祈願祭
 - 1月11日 成人式
 - 1月20日 議会運営委員会
 - 1月21日 広報編集特別委員会
 - 1月29日 石川県町村議会議長会臨時総会
 - 2月3日 奥能登広域圏事務組合議員研修（4日まで）
 - 2月5日 立志の集い
 - 2月13日 常任委員会（教育民生）
 - 2月17日 奥能登広域圏事務組合議員協議会
 - 2月20日 奥能登クリーン組合全員協議会・定例会
 - 2月26日 全員協議会 議会運営委員会
 - 2月27日 奥能登広域圏事務組合議員協議会・定例会
 - 3月2日 全員協議会
 - 3月6日 議会定例会議（議案上程）
 - 3月9日 常任委員会
 - 3月10日 常任委員会
 - 3月16日 議会定例会議（一般質問）
 - 3月18日 議会定例会議（採決）
- 各学校卒業式

次の定例会議は6月です

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。ぜひ傍聴にお越しください。議場が3月より能都庁舎に変わっております。ご意見などありましたら、下記事務局へご連絡ください。

編集後記

北陸新幹線が華々しく開業し、また能越道も氷見から七尾まで開通しました。NHKの朝ドラも奥能登地方を舞台にした「まれ」の放映が始まり、3月は、石川県が全国で一番輝いていました。この勢いに乗り遅れないよう、能登町も観光客誘致、交流人口の拡大に向けた施策に取り組んで行きたいと思えます。

副委員長 金七 祐太郎

広報編集 特別委員会

委員長 長田端 雄市
副委員長 金七祐太郎
委員 員 小路 政敏
酒元 法子
椿原 安弘
南 正晴